

△レイボー錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】ラスミジタン コハク酸塩 Lasmiditan Succinate 【分類】片頭痛治療剤 [5-HT_{1F}受容体作動薬]

【単位】▼50mg・△100mg/錠

【常用量】1回100mg [状態に応じ, 1回 [50mg または200mg]

再発時の再投与は24時間あたり最大200mg

◎副作用発現状況を考慮しても100mgより高い有効性又は早期の有効性発現が必要な場合は200mgの使用を, 100mgの忍容性に懸念がある場合は50mgの使用を検討

1年間継続時の使用量の6割は100mg (Ashina M, et al: Cephalalgia 2023 PMID: 36950929)

【用法】発作時経口投与 [予防的には使用しない]

【透析患者への投与方法】常用量 (1)

【保存期CKD患者への投与方法】常用量 (1)

【特徴】中枢に移行し, 5-HT_{1F}受容体の選択的アゴニストとして作用し, 三叉神経を含む疼痛経路を抑制することによってニューロペプチド放出を減少させ, 片頭痛に効果を示す. 末梢では三叉神経からのグルタミン酸などの神経伝達物質の放出を抑制する.

【主な副作用・毒性】セロトニン症候群, 動機, 回転性めまい, 浮動性めまい, 疲労, 筋力低下, 視力障害, 消化器症状など

【安全性に関する情報】嗜好性が存在する [アルプラゾラムより弱い] (1) 心血管系リスクからみてトリプタンよりも安全かもしれない (Merino D, et al: Neurotherapeutics 2023 PMID: 37436579) 長期投与時の副作用ではめまいが多い (Ashina M, et al: Cephalalgia 2023 PMID: 36950929) 血管収縮に関連した副作用なし (Ahsan M, et al: Indian J Pharmacol 2022 PMID: 36722551)

【F】50~58% (1)

【tmax】

【代謝】CYP以外で酸化・還元され, 代謝物に活性なし (1)

【排泄】尿中未変化体排泄率約3% [iv] (1)

【CL】66.2L/hr [iv] (1)

【t_{1/2}】3.5hr (1)

【蛋白結合率】55~60% (1)

【Vd】304L/body [iv] (1)

【MW】872.81 [salt]

【透析性】資料なし (1) 除去率は低いと思われる (5)

【O/W係数】2.97 (1)

【相互作用】P-gp, BCRP, MATE1及びMATE2-Kを阻害 (1) P-gp阻害によりダビガトランのAUCを25%上昇 (Luffer-Atlas D, et al: J Clin Pharmacol 2023 PMID: 37566903)

【主な臨床報告】併用薬のある片頭痛患者における安全性に懸念認めず (Kitamura S, et al: J Pain Res 2023 PMID: 37255987)

【備考】トリプタン系との上乗せ効果は未検討 (1)

【更新日】20231213

※正確な情報を掲載するように努力していますが, その正確性, 完全性, 適切性についていかなる責任も負わず, いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし, それらを利用した結果, 直接または間接的に生じた一切の問題について, 当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は, 日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。